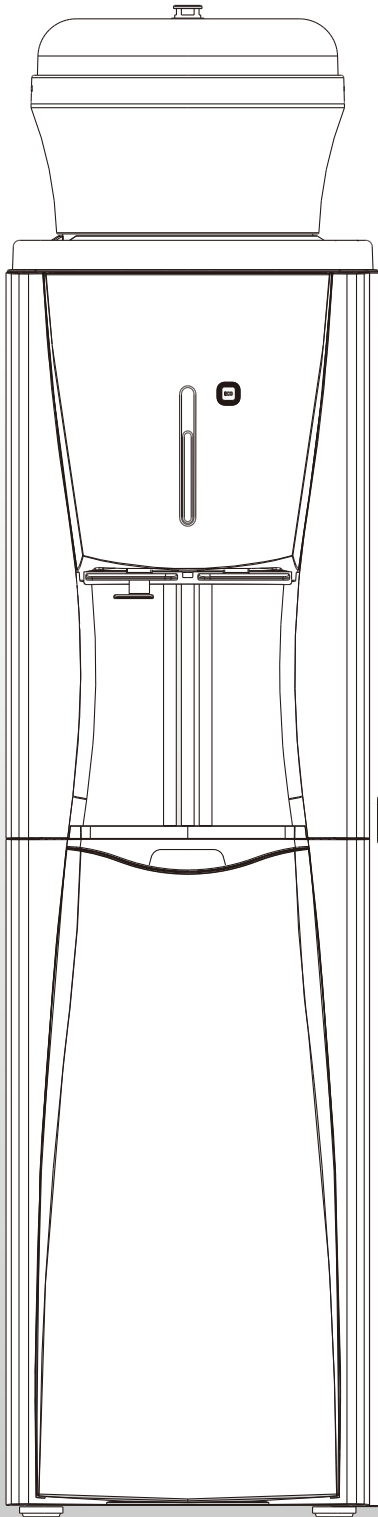


ウォーターサーバー取扱説明書

型式：MS-300R1-P WHITE
MS-300R1-P BLACK



もくじ

	ページ
●安全上のご注意	1~2
●各部の名称と説明	3~4
●初回設置の手順	5~8
●ご使用にあたり	9
●浄水カートリッジの交換方法	10~11
●日頃のお手入れのポイント	12
●故障かな!?と思ったら	13
●製品仕様	14
●Q&A / 免責事項 / 問合せ先	15

この「取扱説明書」は
設置前(電源を入れる前)に
必ずお読みください。

同梱物確認のお願い

●浄水カートリッジセット：1セット
浄水カートリッジセットには、以下のものが含まれます。

- 浄水カートリッジ：1個 
- 衛生シート：1枚 
- ビニール手袋：1組 

●浄水カートリッジ固定板：1個



●取扱説明書：1部



上記同梱物をご確認の上、欠品・破損等ございましたら、
カスタマーセンターまでご連絡ください。


この「取扱説明書」は、設置前に必ずお読みください


設置前によくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）


お使いになる人や他の人の危害、財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。「表示の説明」は、誤った取扱いをしたときに生じる危害・損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。


■表示の説明

 **警告** 「死亡または重症を負う可能性がある内容」を示します。

 **注意** 「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。












■図記号の説明

 中の絵と近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。







 中の絵と近くの文で、してはいけないこと（指示）を示します。

■設置するときは

警告

- 水平で安定した所に設置する
振動や騒音、転倒、落下による事故やけが、感電、火災、やけどの原因となります。  必ず守る
- 電源は交流単相100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う
交流単相100V以外で使用したり、コンセントを他の器具と同時に使用したり、延長コードを使用したりすると、火災、感電の原因となります。  必ず守る
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて通電したり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしない。
コードが破損し、火災・感電の原因となります。  禁止
- アースを接続する
漏電時に感電する原因となります。  アース接続
- アースはガス管や電話回線のアースなどに接続しない
火災の原因となります。  禁止
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電・けがの原因となります。  ぬれた手禁止
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電・ショート・発火の原因となります。  必ず守る
- 電源プラグに付着したほこりは定期的に拭き取る
火災の原因となります。  必ず守る
- 電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因となります。  禁止
- 可燃性ガスの漏れる恐れがある場所や、シンナー等の揮発性の高い溶剤等を近くで使用しない
爆発や火災の原因となります。  禁止
- 転倒防止ワイヤーを取り付ける
転倒による事故やけがの原因となります。  必ず守る











注意

- 屋外や湿気の多い場所、換気の悪い場所、周囲温度が氷点下になる所、直射日光が当たる場所や、発熱物のそばに設置しない
機器の変形・機能の低下・漏電の原因となります。  禁止
- 設置後や移動時は1時間は電源を入れない
冷蔵庫と同じで冷却冷媒を安定させるための時間です。  禁止
- 設置するときは、側面5cm以上、背面15cm以上のスペースを設ける
蒸気や熱気で機器の機能低下、周りの製品に損害を与える原因となります。  禁止
- 設置後、製品の内部やノズルからの水漏れがないか確認し、異常がある場合、使用を禁止し、カスタマーセンターに連絡する
火災・感電の原因となります。  禁止
- 温水タンク・冷水タンクが満タンに給水されるまでコンセントに電源プラグを差し込まない
故障の原因となります。  禁止
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートの原因となります。  禁止

■使用時













警告

- 分解・改造・修理はしない
火災・感電・けがの原因になります。故障した場合にはカスタマーセンターにご連絡下さい。 禁止
- 注水するときは、コップなどを水受け皿の上に置かず、手に持って注水する
水の入ったコップなどが倒れ、やけど（温水注水時）の原因になります。 必ず守る
- 背面の放熱板のすき間から棒や指などを入れない
高温の温水タンクでやけどしたり、感電の原因になります。 禁止
- 点検やお手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となります。 必ず守る
- ガラスコップにお湯を注がない
高温によりガラスコップが破損し、やけどの恐れがあります。 禁止
- 子供など取扱いに不慣れな方だけで使用したり乳幼児に触れさせたりしない
感電・けが・やけどの原因になります。 禁止
- 温水注水時は、熱湯が出るので注意する
やけどの原因になります。 必ず守る
- 日本国内のみで使用する
日本国外で使用すると、電源電圧が異なり、発火・発煙・焼損の原因になります。この製品は日本国内専用です。 必ず守る
- 焦げ臭い等の異常がある場合は、すぐ運転を停止し、電源プラグを抜いて、販売会社、代理店に連絡する
故障や感電、火災の原因となります。 必ず守る
- 浄水タンクに水がない状態で出水しない
タンク内の水がなくなり空焚き・出水不良の原因になります。また、空気とともに雑菌がタンク内に取り込まれ、不衛生な状態となる可能性があります。 禁止










注意

- 電源プラグは抜いたままにしない
抜いたまま放置すると、水質が変化し、不快な臭い、味の低下原因となります。 必ず守る
- 背面の放熱板のほこりは定期的に取り除く
冷却性能低下の原因となります。 必ず守る
- 火気を近づけない
感電・漏電の原因になります。 必ず守る
- 水道法の水質基準に適合した水を使用する
飲料用としての基準に合格してない水を使用した場合、体調を損なう原因となります。 必ず守る
- ウォーターサーバーのまわりに水に弱いものを置かない（電子機器・時計・革製品・書類等）
まわりに置いたものが故障・破損する原因になります。 禁止
- 長期間使用しない場合は浄水タンクを外して製品内の水を抜き、電源プラグもコンセントから抜く
水質変化と絶縁体劣化による感電や漏電の原因となります。 必ず守る
- 温・冷水レバーで水を挟まないよう注意する
特に小さなお子様が温・冷水レバーに触らないよう注意して下さい。けが、やけどの原因となります。 必ず守る
- 製品の上に物を置いたり、乗ったり、寄りかかったり、揺すったり、傾けたりしない
転倒してけがの原因になります。 必ず守る
- 浄水カートリッジは定期的に変換する
 必ず守る
- 冷水も温水も定期的にご使用ください
定期的な出水により各タンクの水が循環します。タンク内の水の停滞はさけてください。 禁止

■お手入れ・異常時

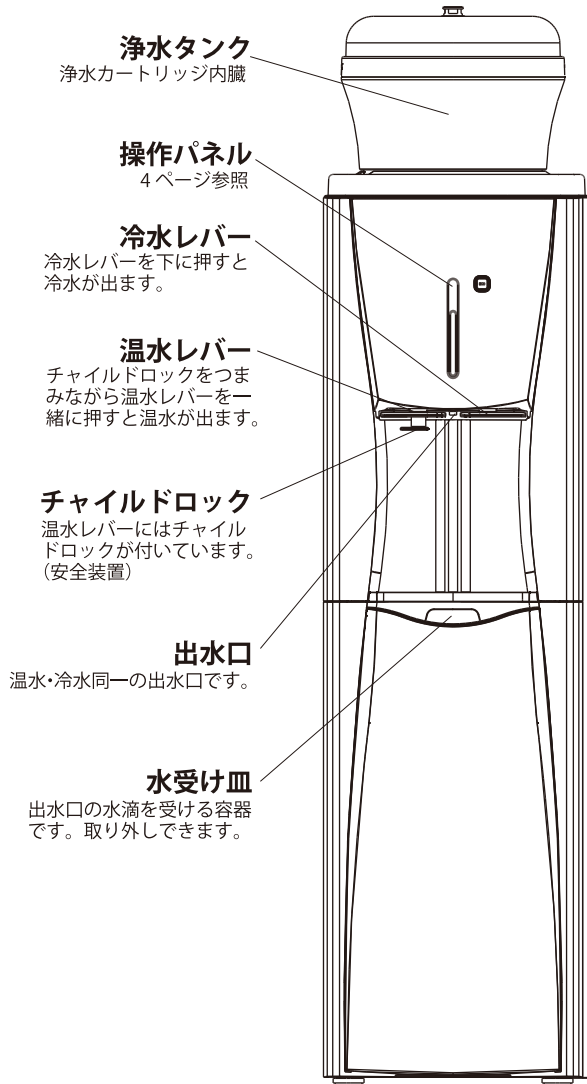


警告

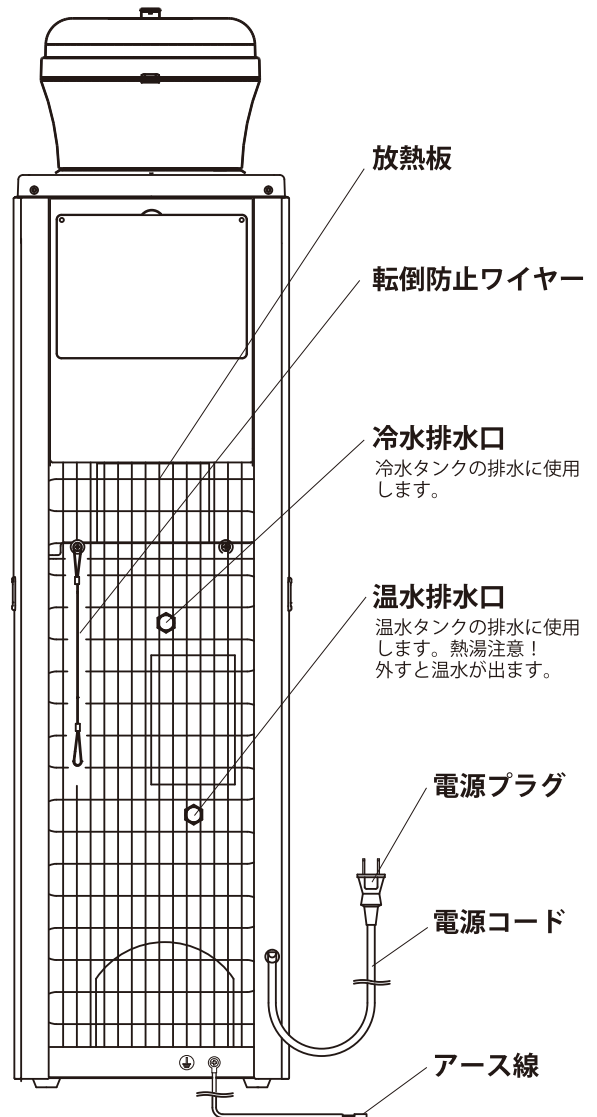
- 点検やお手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
漏電による感電の原因になります。 必ず守る
- 水をかけたり、水洗いしない
漏電やショートを起こし、感電・火災・故障の原因になります。水がこぼれた場合は、すぐに拭き取ってください。 禁止
- 災害時に製品が水没した場合などは、動いていても使用を中止し、電源プラグを抜いて、カスタマーセンターに連絡する
感電・火災の原因になります。 必ず守る
- 定期的に水受け皿の水を捨て洗浄する
 必ず守る
- お手入れするときは、シンナー・ベンジンで拭いたり、殺虫剤をかけたり、塩素系・酸性タイプの洗浄剤を使用しない
ひび割れ・感電・引火・有毒ガス発生の原因になります。 禁止
- 温水タンクの水抜きをおこなう場合、必ず電源プラグを抜いてから3時間放置（温水が冷めてから）後におこなう
温水タンク内は熱湯状態ですので、やけどの原因になります。 必ず守る
- 動かなくなったり異常がある場合は、事故防止のため、電源プラグを抜いて、カスタマーセンターに連絡する
漏電やショートを起こし、感電や火災の原因になります。 必ず守る

各部の名称と説明

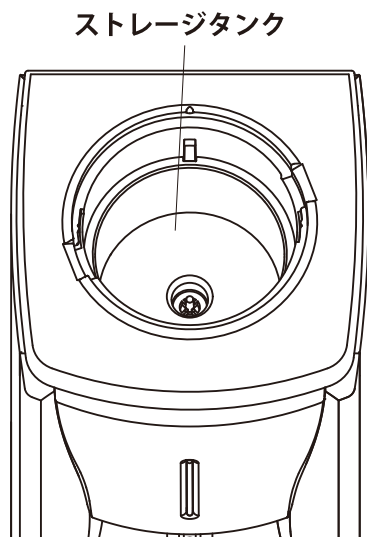
前面



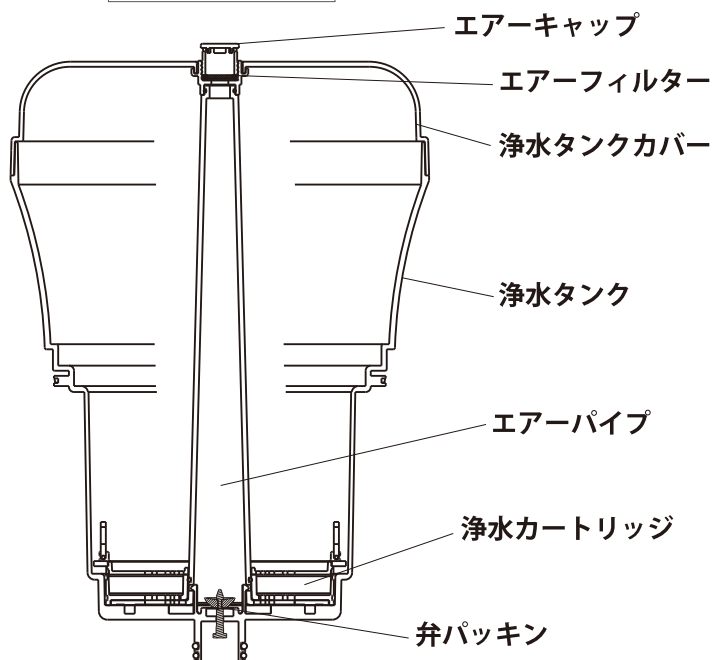
背面



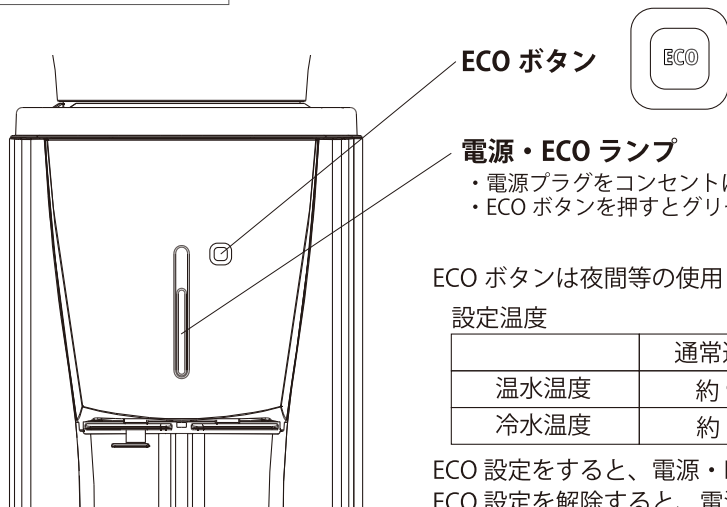
浄水タンク差し込み部



浄水タンク



操作パネル

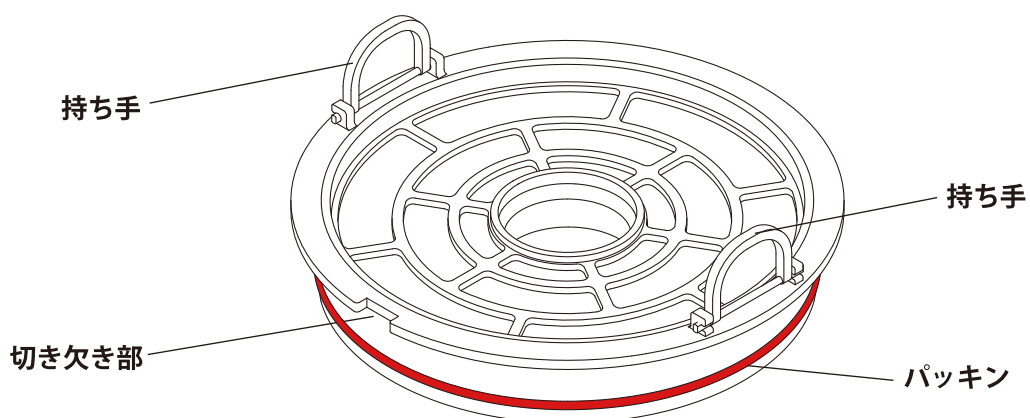


設定温度

	通常運転時	ECO 運転時
温水温度	約 90℃	約 75℃
冷水温度	約 5℃	約 12℃

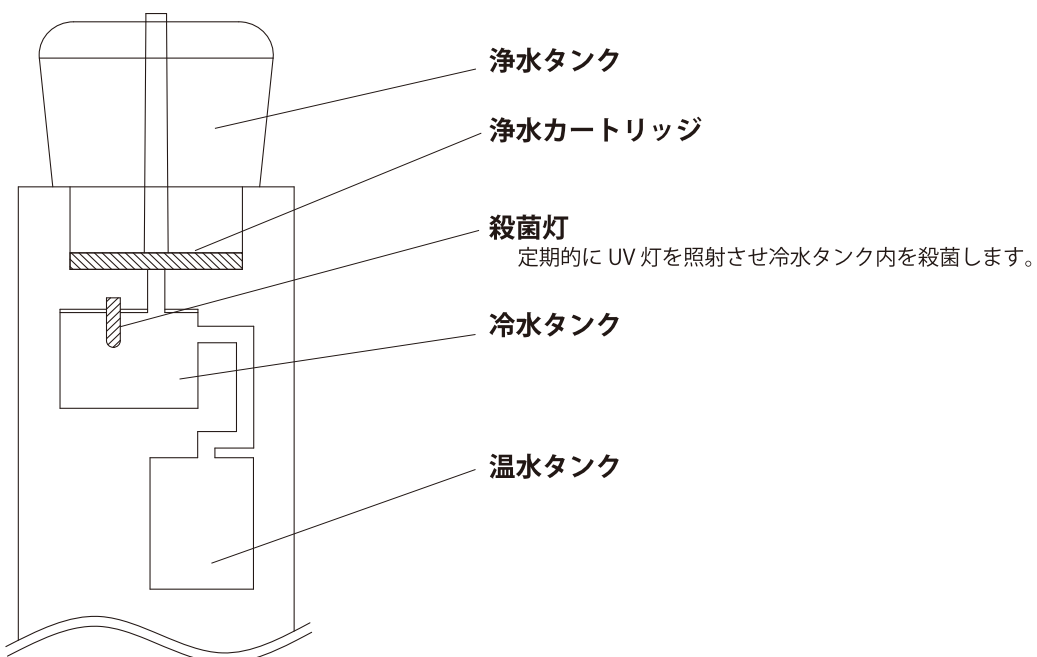
ECO 設定をすると、電源・ECO ランプは、グリーンで点灯します。
ECO 設定を解除すると、電源・ECO ランプは、ブルーで点灯します。

浄水カートリッジ



殺菌灯

本製品は、冷水タンク内に殺菌灯を内蔵しています。



初回設置の手順

お願い



注意

冷却触媒を安定させるため、ウォーターサーバーが届いても1時間は電源を入れないでください。また、移動したときも同様です。

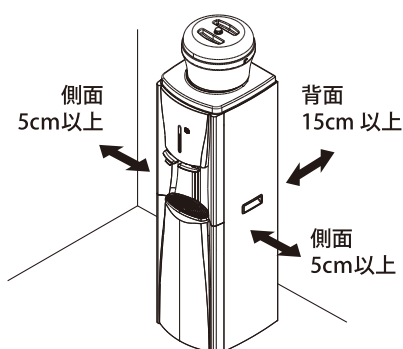
①浄水カートリッジの箱、②浄水カートリッジ、③衛生シート、④ビニール手袋、⑤固定板をご用意ください。

1 製品の設置

1. 製品の設置

製品を箱より出してください。中袋を取り外しコンセントのある場所へ設置してください。絶対に給水前に電源プラグは差し込まないでください。

設置に必要なスペース

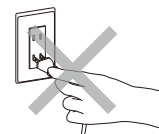


注意



禁止

給水前に電源プラグは絶対にコンセントに差し込まないでください。故障の原因になります。



注意



必ず守る

- ・平らで安定した場所に壁から背面は15cm、側面は5cm以上離して設置してください。
- ・アース端子は必ず最初に接続してください。
- ・温水排水口・冷水排水口が閉まっているか確認してください。
- ・屋外や直射日光の当たる場所には設置しないでください。

2. アース線の取り付け

万一の感電事故防止のために、アース(接地)を接続してください。

■電源コンセントにアース端子がある場合

アース線の先端をアースコンセントに差ししてください。現在ご使用中の電化製品(エアコン・冷蔵庫・電子レンジ・洗濯機など)と一緒に、アース端子を共用接続していただくこともできます。

■電源コンセントにアース端子が無い場合

お近くの電気店へご相談ください。

■接続にあたっての注意

ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線とは共用接続しないでください。

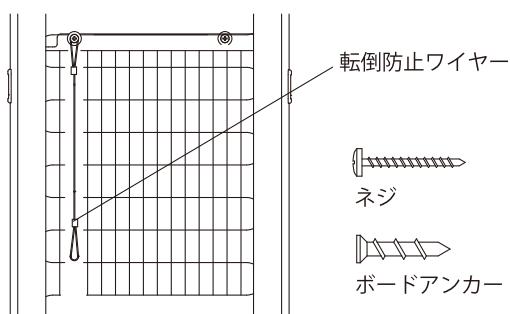
3. 転倒防止ワイヤーの取り付け

衝撃などで本体が転倒するおそれの原因となることがあります。

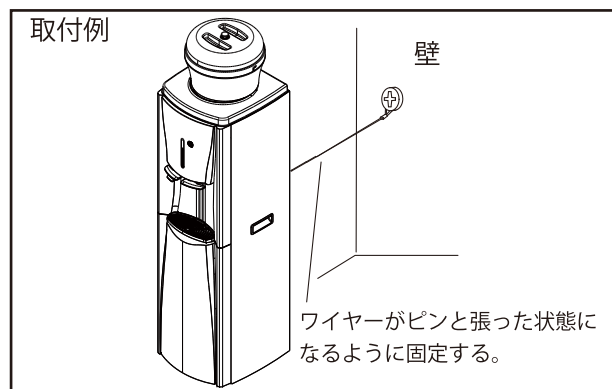
ご家庭での安全確保のために、設置場所がきまりましたら、製品背面に取り付けている転倒防止ワイヤーの片側を壁や柱にネジで固定してください。

ワイヤーはたるませないで固定してください。

(ネジやボードアンカーは同梱されておりません。別途ご用意ください。)



取付例



2 浄水カートリッジの準備および取付け

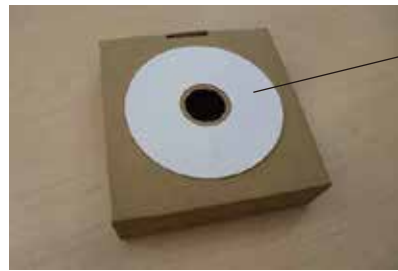
浄水カートリッジの準備、取り付け時には、カートリッジに同封のビニール手袋をご使用ください。

1. 浄水カートリッジのご使用前の準備

- 1 浄水カートリッジを個装箱から出し、袋から開封してください。
- 2 浄水カートリッジはボールなどの容器に水道水を300～400cc入れて10分ほど浸してください。

※水道水に浸す時間が短いと、ろ過スピードが遅くなる場合があります。
※カートリッジに黒い粉がついている場合は、水道水で洗い流してください。
これは、ろ材で使用している活性炭で異常ではありません。

- 3 個装箱の底面の○部を指で押して穴を開けて衛生シートを敷きます。
箱の蓋を閉じてその面を下にしてタンクに据え付け台として使用します。



衛生シート

2. 浄水カートリッジの取り付け

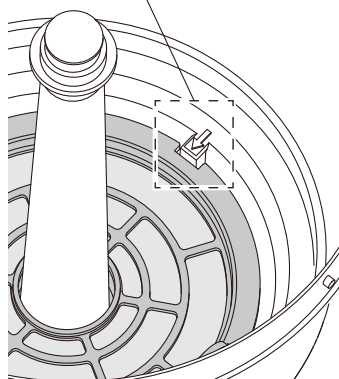
- 1 浄水タンクは反時計回りに回して真上に引き上げてください。
- 2 取り外した浄水タンクは、浄水カートリッジの個装箱に差し込んで置いてください。



- 3 浄水カートリッジを取り付けます。
浄水カートリッジの切り欠き部を浄水タンクの凸部に合わせて、水平に挿入します。



カートリッジの切り欠き部と浄水タンクの凸にを合わせて挿入



浄水カートリッジ切り欠き部



浄水タンク凸部



初回設置の手順 (つづき)

- ④ 浄水カートリッジを指で少しずつ平行に押し込んでいきます。
押しづらい場合は付属の浄水カートリッジ固定板(ウォーターサーバー初回お届け時に同梱)をご利用ください。



浄水カートリッジ固定板



- ⑤ 浄水カートリッジを軽く引っ張り、カートリッジが動かないことを確認してください。
動く場合は、さらに浄水カートリッジを押し込んでください。



※側面から見て、浄水カートリッジが、浄水タンク底面となるべく平行になるように取り付けてください。

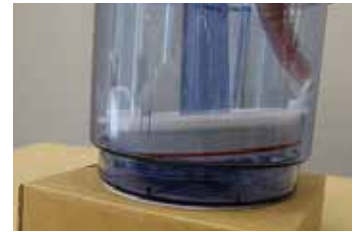
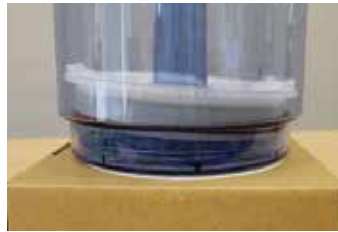
正常に取り付けられている状態



赤いパッキン全体が上図『a』の位置に収まっている。

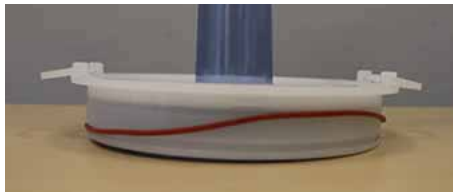
以下のような場合は、取り付け直してください。

- ・大きく傾いて取り付けられている。
- ・押し込みが足りない。
軽く引っ張ると抜けてしまう

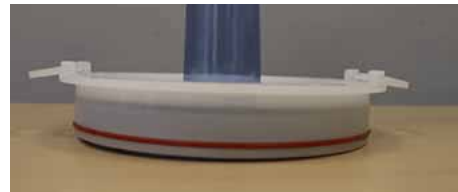


浄水カートリッジの赤色のパッキンがずれている場合には、右図のように位置を修正してください。



×

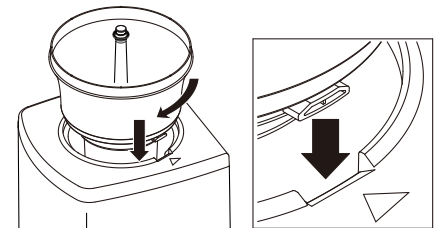


○





3. 浄水タンクの取り付け



浄水タンク外側にある『』の形状部分を本体の『』に合わせて挿入し、クリック感のあるところまで時計回りに浄水タンクを回してください。



4. 水道水の補給 (必ず満水まで入れてください。)

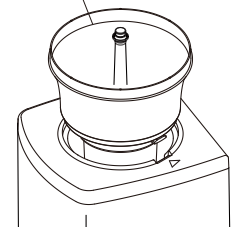
ピッチャーなどの容器で水道水を補給します。
浄水タンクが満水になるまで補給が必要です。

	注意
	満水位置以上に補給しないでください。 故障の原因になります。

	注意
	水道法の水質基準に合格した水をお使いください。 飲料用としての基準に合格していない水を使用した場合 体調を損なう恐れがあります。

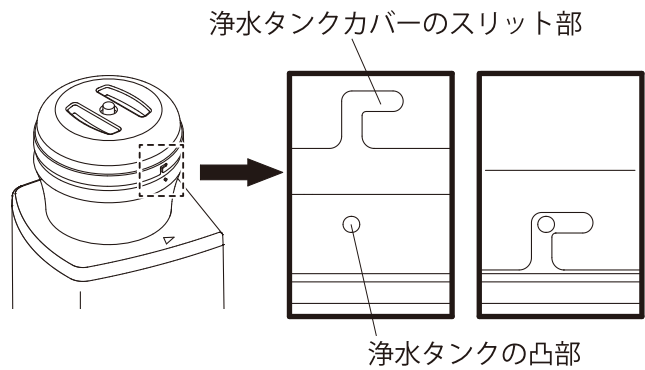


満水位置



5. 浄水タンクカバーの取り付け

浄水タンクカバーのスリット部を浄水タンクの凸部に合わせて挿入し、時計回りに回してください。



3 出水確認

1. 温水タンク内のエア抜き（空気抜き）

浄水タンクをセットしたら、すぐに温水レバーをチャイルドロックをつまみながら下に押し続け、温水タンク内のエア抜きを水が確実に出るまで押し続けてください。（3分から5分程度）
水が出ましたらエア抜きは完了です。浄水タンク部に補給した水がなくなりましたら、補給してください。

※エア抜きが完了したら水が出ますので、出水口下にコップをご用意ください。

※温水タンクのエア抜きは、3分から5分ほど水が出ない状態で押し続けていただく必要があります。



温水レバーとチャイルドロック
2枚合わせてつまむ



つまんだまま下側へ押す

⚠ 注意



必ず守る
使い始めの時期は、樹脂製部品由来の「におい」を感じる場合があります。使い始めには、ウォーターサーバー内洗浄のため、温水レバーを操作し浄水タンクが空になるまで出水してください。

2. 電源プラグをコンセントへ差し込む

温水タンク内のエア抜きをしてから、ここで初めて電源プラグをコンセントに差し込みます。
電源プラグをコンセントに差し込むと、温水タンクの加熱、冷水タンクの冷却が始まります。
設置完了後、約40分後には温水、冷水とも使用可能になります。（環境条件により時間は異なります。）

※温水タンクの空焚きを防ぐために、浄水タンク内が空になったら出水が出来なくなります。

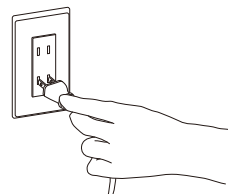
その場合は出来るだけ早く水道水を補給してください。

長時間放置しますと、不快なにおい、味の低下原因となります。

⚠ 注意



コンセントのタコ足配線は、発熱し火災の恐れがありますので単独で使用してください。



設置後の確認

浄水タンク付近、出水口付近、製品裏面より水漏れがないかチェックしてください。
万一水漏れがあった場合は使用を中止してカスタマーセンターにご連絡ください。

ご使用にあたり

1. 出水方法

① 冷水の出し方

冷水レバー（青）を押します。



② 温水の出し方

温水レバー（赤）とチャイルドロックをつまみながら押します。



2枚合わせてつまむ



つまんだまま下側へ押す

※水またはお湯が跳ねることがありますので、コップを出水口の近くで持って操作してください。

⚠ 注意



禁止

温水を出す時は手にかけたりしてやけどをしないよう十分注意してください。
温水レバーにチャイルドロックを採用していますが、お子様だけの使用はおこなわないでください。

⚠ 注意

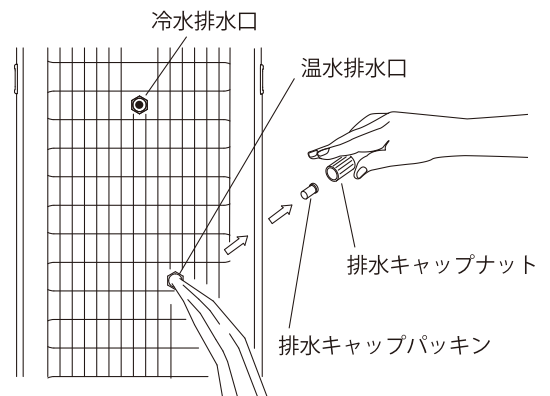


必ず守る

浄水タンクに水が残った状態で長時間放置しない。
長時間放置するとタンク内の水質の変化や劣化が生じ体調を損なう恐れがあります。
浄水タンク内の水は早めにお飲みください。

2. 長時間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてタンクの水抜きをおこなってください。
電源プラグを抜いた状態で長時間放置しますとタンク内の水質の変化や劣化が生じます。
浄水タンクを製品から外し、温水タンクと冷水タンクの水を必ず抜いてください。
- 水抜きをする場合、背面の温水排水口及び冷水排水口から排水キャップナットと排水キャップパッキンを外してそれぞれ水抜きをしてください。
- 排水キャップパッキンはなくさないように注意をしてください。
- 再設置の際は、初回設置の手順（5 ページ以降）をご確認ください。



⚠ 警告



必ず守る

温水タンクの水抜きをおこなう場合、電源プラグを抜いて3時間放置後（温水が冷めてから）におこなう。温水タンク内は熱湯状態ですので、やけどの原因になります。

⚠ 注意

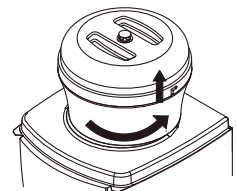


必ず守る

冷水タンクの水抜きをおこなう場合、電源プラグを抜いて冷水タンク内が常温に戻るまで放置しておこなう。設置場所、環境により冷水タンク内が凍結し、排水が十分にできない場合がありますので、解凍後、排水してください。

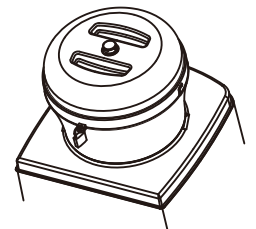
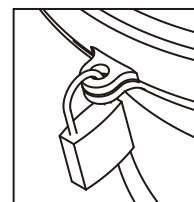
3. 浄水タンクを外す場合

浄水タンクを外す時は、必ず反時計回りに回してロックを外してから真上に引き上げてください。止水用の弁パッキンが浄水タンクを引き抜いた時に閉まりますので、浄水タンク内に水が残っていても水は漏れません。



4. 鍵の取り付け

浄水タンクと浄水タンクカバーには鍵取り付け用の穴を設けております。（市販の南京錠等を別途ご用意ください。）



浄水カートリッジの交換方法

契約内容に沿って、定期的にカートリッジをお送りいたします。

①浄水カートリッジの箱、②浄水カートリッジ、③衛生シート、④ビニール手袋、⑤固定板をご用意ください。

1. 浄水カートリッジ交換前の準備

①事前に浄水タンクから水を取り出しておいてください。

浄水タンク内に水が残る場合は、浄水タンクを取り外した際に、捨ててください。



浄水カートリッジの交換時には、カートリッジに同封のビニール手袋をご使用ください。

②浄水タンクカバーを外して浄水タンクをサーバー本体から取り外してください。

浄水タンクは反時計回りに回し、ゆっくり引き抜いてください。

浄水タンク内に水道水が残っている場合は、捨ててください。



③衛生シートを敷いた個装箱に浄水タンクを差し込みます。

④エアパイプを取り外してください。

エアパイプは根元をつかんで、ゆっくり上に引き抜いてください。



⑤浄水カートリッジをエアパイプから取り外して下さい。

各部品を水道水で洗ってください。

カートリッジを左手で押さえ右手でエアパイプを回しながらゆっくりと押し込んでください。

※ご使用後の浄水カートリッジはお住まいの自治体の廃棄物処理に従い廃棄してください。



浄水カートリッジの交換方法（つづき）

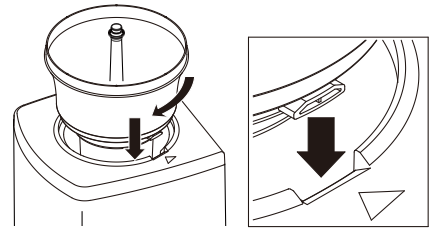
2. 浄水カートリッジの交換

6～7ページの「初回設置の手順」②の1と2の手順にしたがって浄水カートリッジを取り付けてください。



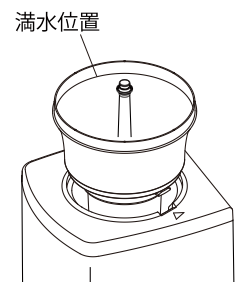
3. 浄水タンクの取り付け

浄水タンク外側にある『』の形状部分を本体の『』に合わせて挿入し、クリック感のあるところまで時計回りに浄水タンクを回してください。



4. 水道水の補給

ピッチャーなどの容器で水道水を補給します。



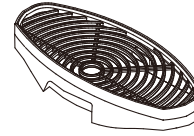
最後に浄水タンクカバーを取り付けて浄水カートリッジ交換は完了となります。

日頃のお手入れのポイント

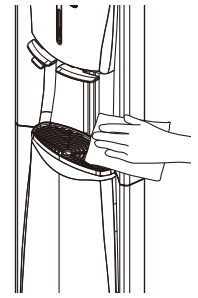
本体 / 水受け皿のお手入れ

- 汚れのひどい場合は、食器用中性洗剤を水で薄めて柔らかい布に含ませて、汚れを拭き取ってください。その後布を水で洗いよく絞ったのちに丁寧に拭き取ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、クレンザー、ナイロンたわし、金属たわしなどは使用しないでください。(ひび割れや変色、キズの原因になります。)

清掃の目安
1 か月ごと



水受け皿は取り外しできます。



浄水タンクのお手入れ

- 週に一度は浄水タンクを水道水で洗うことをおすすめします。(エアフィルターと浄水カートリッジは必ず外してから、浄水タンクを洗浄してください。)

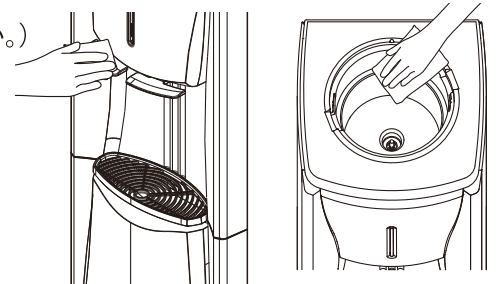
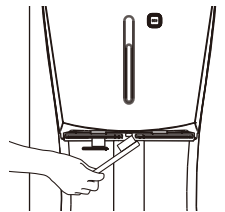
清掃の目安
1 週間ごと



温水レバー / 冷水レバー / 出水口 / ストレージタンクのお手入れ

- 清潔なふきんや乾いたタオル等で汚れを拭き取ってください。(汚れがひどい場合は、市販のアルコール系衛生剤で消毒してください。)

- 出水口はブラシでお手入れしてください。



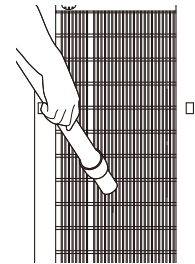
清掃の目安
1 週間ごと

背面部のお手入れ

- 付着した綿ほこりなどを掃除機で吸い取った後、水を含ませた柔らかい布をよく絞り拭いてください。

※高温によるやけど防止のためコンセントから電源プラグを抜き、しばらくしてからおこなってください。

清掃の目安
1 か月ごと



電源コード / プラグ / アース端子の点検

- 電源コードやプラグに亀裂がないか、またコードが発熱していたり重い物の下敷きになっていないか点検してください。これらは、感電事故や火災の原因になりますので、普段の使用時からこまめに点検してください。
- アース端子にアース線がゆるみなく接続されているか、アース線に亀裂がないか点検してください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

点検の目安
1 か月ごと

水漏れの点検

- 浄水タンクがストレージタンクに十分に差し込まれていない場合や温水排水口および冷水排水口の締りが不十分ですと水漏れを起こします。定期的に製品の位置をずらし背面や底部に水が漏れていないか点検してください。

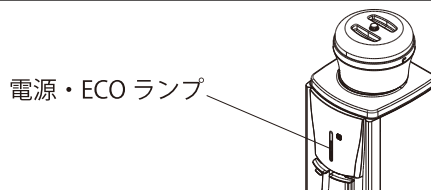
点検の目安
1 か月ごと

故障かな!?と思ったら

このようなとき	お調べいただくこと	処置の仕方
水が出ない	浄水タンクが空になっていませんか？	空焚き防止も含めて、浄水タンクに水を補給してください。
	温水タンクのエアー抜きが不完全になっていませんか？	温水レバーを押し下げ、出水口から水が出るまでレバーを押し続けてください。
	カートリッジが目詰まりしていませんか？	浄水カートリッジを交換してください。
温水が熱くない 冷水が冷たくない	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグを確認してください。
	停電またはブレーカーが切れていませんか？	ご自宅・オフィス等の電気の配電盤を確認してください。
	冷水の出し過ぎまたは冷却時間短すぎませんか？	一度に大量に出さないようにするか時間を置いて使用してください。
	設置場所の温度が高くありませんか？	直射日光の当たらない風通しの良い場所に設置してください。
	背面の放熱板にほこりは詰まっていますか？	背面放熱板を清掃してください。
	製品の背面が壁に近く設置されていませんか？	背面を壁より 15cm 以上離して、背面放熱板からの熱が逃げるように設置し直してください。
	温水の出し過ぎまたは加熱時間が短すぎませんか？	一度に大量に出さないようにするか時間を置いて使用してください。
水が漏れている	温水・冷水排水口から水は漏れていませんか？	温水・冷水排水口のキャップナットをしっかり閉めてください。
	タンクに水滴がついていませんか？	涼しい場所に製品を設置してください。
	タンクから水がもれていませんか？	浄水タンクを抜き、水を排水してください。 (カスタマーセンターにご連絡ください。)
	浄水タンクが不完全に差し込まれていませんか？	浄水タンクをきっちり最後まで差し込んでください。
	弁パッキンにゴミが付着していませんか？	浄水タンクを洗浄し、ゴミを取り除いてください。
騒音がする	製品本体が傾いていませんか？	製品本体を水平に設置してください。
	壁や他の製品に触れていませんか？	製品本体を壁や他の製品から離してください。

エラー表示

製品に何らかの異常が発生したときは
操作パネル部の電源・ECO ランプに表示されます。
電源プラグをコンセントから外して、
以下をご確認ください。



エラー表示	原因	処置の仕方
電源ランプがレッドで点滅	温水タンクが 100℃になった (加熱、冷却、UV ランプは動作を強制停止)	約10分間電源プラグを抜いた状態にして、その後温水側から水が出ることを確認してください。(重要) 水が出たら、電源プラグを差し直してブルーで点灯していれば、40分後に温水をご利用できます。 改善しない場合は、カスタマーセンターへご連絡ください。
	温水タンクの温度検知部がショートまたは断線 (加熱、冷却、UV ランプは動作を強制停止)	
電源ランプがブルーで点滅	冷水タンクが -1℃になった (加熱、冷却、UV ランプは動作を強制停止)	電源プラグをコンセントから外し、カスタマーセンターへご連絡ください。
	冷水タンクの温度検知部がショートまたは断線 (加熱、冷却、UV ランプは動作を強制停止)	
電源ランプがグリーンで点滅	動作確認エラー (加熱、冷却は動作を強制停止)	電源プラグをコンセントから外し、再度差し直してください。
電源ランプがホワイトで点滅	動作確認エラー (加熱は動作を強制停止)	

製品仕様

名称	ウォーターサーバー				
型式	MS-300R1-P				
定格電圧	単相 100V(50/60Hz)				
定格消費電力	加熱 400W				
	冷却 100W				
製品寸法(高さ×幅×奥行)	1,190mm×300mm×320mm (突起部含まず)				
重量	18kg				
浄水タンク容量	6L				
タンク容量	温水タンク：1.9L				
	冷水タンク：2.0L				
通常設定温水温度	約 90℃				
通常設定冷水温度	約 5℃				
冷媒	HFC-134a				
電源コード	有効長：1.8m				
殺菌灯(冷水タンク)	4W				
ECO 設定時温水温度	約 75℃				
ECO 設定時冷水温度	約 12℃				
使用流体	水道法水質基準に適合した水				
材質の種類	浄水タンク：ポリカーボネート・ポリプロピレン・シリコンゴム エチレンプロピレングム・ステンレス				
	浄水カートリッジ：ポリプロピレン				
ろ材の種類	活性炭、不織布				
ろ過流量	0.5 リットル / 分				
浄水能力	遊離残留塩素	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	総トリハロメタン	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	CAT (農薬)	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	2-MIB (カビ臭)	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	溶解性鉛	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	ブロモジクロロメタン	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	ジブロモクロロメタン	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	ブromホルム	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	テトラクロロエチレン	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	トリクロロエチレン	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	クロロホルム	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	シス及びトランス 1,2 ジクロロエチレン	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	ベンゼン	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	陰イオン界面活性剤	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	フェノール類	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	ジェオスミン	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	有機フッ素化合物(PFOS / PFOA)	総ろ過流量	400L	除去率 80%	JIS S 3201 試験結果
	ろ材の交換時期の目安	4 か月 (1 日 3L 使用の場合)			
使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ○水道法の水質基準に合格した水をお使いください。 ○井戸水では使用しないでください。 ○新しいカートリッジの使用開始時は、取扱説明書に記載の「初回設置の手順」または「浄水カートリッジの交換方法」をご確認ください。 ○ろ材の交換時期の目安は、使用水量、水質、水温などにより異なります。 ○35℃以上の温水をろ過しないでください。 ○浄水のくみ置きはしないで早めにお使いください。 ○凍結のおそれのある場所には設置しないでください。 ○養魚用などには使用しないでください。 ○使用済みのカートリッジは、プラスチックゴミとして廃棄してください。 				

Q & A

Q1 設置スペースはどこがいいですか？

A1 電源が確保できる場所をお願いします。また、屋外や湿度の高くなる場所、不衛生な場所や熱源に近いところ、直射日光が当たる場所は避けてください。

Q2 新しい浄水カートリッジに交換したのですが、水がでません。

A2 浄水カートリッジを浄水タンクにセットする前に10分程度、水道水に浸す作業はおこないましたか？水道水に浸す時間が短いと、ろ過スピードが遅くなる場合があります。そのまま、ろ過スピードが回復するまでご使用いただくか、カートリッジを取外し、浸水作業をおこなってください。

Q3 旅行など長期不在時の対処方法を教えてください。

A3 旅行や出張などの長期不在時はウォーターサーバー背面の排水口から水抜きをおこなうようにしてください。(水抜き方法は、9ページの2を参照)

免責事項

当社は、以下各号に定める事由又は原因によって生じた不具合については責任を負いません。

1. 取扱説明書で定める「使用上の注意」に反する方法等で製品を使用した場合（例えば、水道水以外のお水を使用する場合、浄水タンクにお水を約5日以上溜めている場合などを含みます。）
2. 取扱説明書で定めるお手入れ方法及びお手入れの時期に従ってお手入れをしない場合
3. 直射日光の当たらない風通しのよい場所に設置しないで使用した場合
4. 取扱説明書で定める「安全上のご注意」を守らないで製品を使用した場合
5. お子様など製品の使用方法等を理解することが困難な方が容易に使用できる環境下で製品を使用した場合
6. 前各号に定めるほか、取扱説明書の内容に反することで生じる不具合、お客様による不適切な方法等での製品の使用によって生じる不具合及び当社の責めに帰すことができない事由によって生じる不具合

●13 ページの「故障かな！？と思ったらをよくお読みいただき再確認のうえ、なお不具合がある場合は、下記までご連絡ください。

Locca
カスタマーセンター



0570-026-363

営業時間：10:00～18:00(土日祝日・年末年始は除く)